



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社 コメ兵ホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 2780 URL https://komehyohds.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 吉田 浩之 TEL 052-249-5366
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 62,696 | 25.7 | 3,710 | 39.8 | 3,978 | 49.4 | 2,694 | 62.4 |
| 2022年3月期第3四半期 | 49,872 | — | 2,654 | — | 2,662 | — | 1,659 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,227百万円 (84.6%) 2022年3月期第3四半期 1,748百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 245.96 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 151.42 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年3月期の期首から適用しております。このため、当該基準を適用する前の2021年3月期第3四半期の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 48,433 | 23,465 | 47.8 | 2,112.98 |
| 2022年3月期 | 39,667 | 20,700 | 51.5 | 1,865.42 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 23,150百万円 2022年3月期 20,438百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 12.00 | — | 20.00 | 32.00 |
| 2023年3月期 | — | 25.00 | — | | |
| 2023年3月期（予想） | | | | 35.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 85,000 | 19.5 | 4,780 | 28.7 | 5,040 | 33.6 | 3,280 | 45.2 | 299.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社セルビーの株式を取得し、グループ会社化したため、連結の範囲に含めております。また、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD. を設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期3Q | 11,257,000株 | 2022年3月期 | 11,257,000株 |
| 2023年3月期3Q | 300,628株 | 2022年3月期 | 300,628株 |
| 2023年3月期3Q | 10,956,372株 | 2022年3月期3Q | 10,956,423株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、東京証券取引所への決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (追加情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限が緩和されたこともあり、緩やかに持ち直してきております。個人消費は対面型サービスを中心に回復傾向になりました。一方で、国際情勢に端を発した円安による物価上昇傾向等による個人消費への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

リユース業界においては、社会のSDGs推進の動きとリユースへの意識の高まりを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対しては、お客様と従業員の安全を第一に考え、感染拡大の防止に向けた対応を継続し、個人買取の強化、法人販売による在庫コントロール及び経費コントロールに努めました。

株式会社コメ兵においては、リアルとデジタルを組み合わせたお客様とのコミュニケーションの強化やサービスのご提供に加え、新しいお客様との接点として店舗以外でのイベントを行いました。また、個人買取の強化において、「安心できる“いつもの”“近くの”場所での買取」をコンセプトに、イベント買取や買取専門店の新規出店を積極的に行いました。

また、業務の効率化を推進するとともに、オンラインストアの利用促進や、当社グループ会社が運営する法人向けオンラインオークションによる法人販売の強化に注力するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しても、収益を確保できる体制を継続し整えてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は62,696百万円（前年同四半期比25.7%増）、営業利益は3,710百万円（前年同四半期比39.8%増）、経常利益は3,978百万円（前年同四半期比49.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,694百万円（前年同四半期比62.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、国内のグループ会社では、株式会社コメ兵で買取専門店は19店舗、株式会社イヴコーポレーションで販売店舗を1店舗、株式会社K-ブランドオフで販売店舗である銀座本店の移転に加え、買取専門店（FC加盟店舗）を14店舗出店しております。また、株式会社セルビーのグループ会社化により2店舗増加いたしました。海外のグループ会社では、販売店舗をSAHA KOMEHYO COMPANY LIMITED（タイ）で2店舗、米濱上海商貿有限公司（中国）では1店舗を出店しております。

中古品仕入高については、株式会社コメ兵ではイベント買取や新規出店を中心に個人のお客様からの買取を強化したほか、AIでの真贋・型番判定を全買取センターに導入し、お客様とのコミュニケーションを重視した、安心して利用できる買取サービスの促進に努めました。

販売については、株式会社コメ兵のコンタクトセンターの拡充、訪日外国人を含めた来店者数の増加に対応するための店舗在庫の充実、お客様との関係性を深める施策を積極的に実施いたしました。また、個人買取が好調に推移したことにより、小売り向け商品を充実させうえて法人販売を強化するとともに、株式会社KOMEHYOオークションと株式会社K-ブランドオフそれぞれが運営する法人向けオークションを強化いたしました。

営業利益については、個人買取が好調に推移したことで小売売上高が順調に推移し、さらに法人販売を強化したことにより大幅に売上高が増加し、売上総利益が増加したことに加え、経費コントロールによる販売費及び一般管理費の抑制が奏功いたしました。

さらに、ブランド・ファッション事業におきまして、2022年8月に宝石部門の拡大を目的として、株式会社セルビーをグループ会社化し、同年12月に海外での個人買取及び販売の拡大を目的として、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD.（シンガポール）を設立いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当セグメント売上高は58,853百万円（前年同四半期比26.9%増）、営業利益は3,371百万円（前年同四半期比55.3%増）となりました。

② タイヤ・ホイール事業

株式会社クラフト及び株式会社オートパーツジャパンにおいては、ホイールやカスタム用パーツの販売が順調に推移いたしました。その中でも、株式会社クラフトでのコールセンターによる接客強化、SNS等によるコミュニケーション強化と株式会社オートパーツジャパンでの通信販売のささげ業務の効率化、及び株式会社フォーバイフォアエンジニアリングサービスで開発した新作ホイールの販売に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当セグメント売上高は3,807百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は296百万円（前年同四半期比70.8%増）となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、店舗の賃貸管理の他、グループ会社の主要な店舗をグループ会社に賃貸しております。

当第3四半期連結累計期間の当セグメント売上高は214百万円（前年同四半期比15.3%減）、営業利益は64百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は48,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,765百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金1,292百万円、売掛金879百万円、棚卸資産5,248百万円、流動資産その他（預け金等）569百万円、無形資産その他（ソフトウェア等）287百万円、のれん103百万円及び投資その他の資産307百万円の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は24,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,000百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金7,091百万円の増加が、1年内返済予定の長期借入金611百万円、賞与引当金240百万円及び長期借入金266百万円の減少を上回ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は23,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,765百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,694百万円の計上及び為替換算調整勘定496百万円の増加が、剰余金の配当493百万円を上回ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末は51.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想及び配当予想については、本日（2023年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,080,005 | 10,372,319 |
| 売掛金 | 1,709,180 | 2,588,361 |
| 棚卸資産 | 15,308,225 | 20,557,013 |
| その他 | 3,356,480 | 3,926,192 |
| 流動資産合計 | 29,453,891 | 37,443,887 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 3,415,308 | 3,434,743 |
| 土地 | 1,646,267 | 1,644,961 |
| 建設仮勘定 | 11,904 | 70,037 |
| その他 (純額) | 685,159 | 693,285 |
| 有形固定資産合計 | 5,758,640 | 5,843,027 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 444,658 | 548,504 |
| リース資産 | 395,277 | 387,547 |
| その他 | 1,026,637 | 1,314,471 |
| 無形固定資産合計 | 1,866,573 | 2,250,523 |
| 投資その他の資産 | 2,588,182 | 2,895,716 |
| 固定資産合計 | 10,213,396 | 10,989,267 |
| 資産合計 | 39,667,287 | 48,433,155 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 527,778 | 860,040 |
| 短期借入金 | 8,360,000 | 15,451,600 |
| 1年内償還予定の社債 | 72,000 | 72,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,023,299 | 411,723 |
| リース債務 | 262,515 | 304,417 |
| 未払金 | 1,212,763 | 1,002,802 |
| 未払法人税等 | 1,006,884 | 652,586 |
| 契約負債 | 507,074 | 659,927 |
| 賞与引当金 | 761,069 | 520,626 |
| 商品保証引当金 | 9,456 | 8,746 |
| ポイント引当金 | 60,616 | 65,766 |
| 資産除去債務 | — | 12,000 |
| その他 | 427,528 | 415,683 |
| 流動負債合計 | 14,230,986 | 20,437,920 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 212,000 | 140,000 |
| 長期借入金 | 3,429,894 | 3,163,180 |
| リース債務 | 159,900 | 105,917 |
| 役員退職慰労引当金 | 23,598 | 23,598 |
| 商品保証引当金 | 390 | 547 |
| ポイント引当金 | 94,577 | 130,041 |
| 退職給付に係る負債 | 101,967 | 135,405 |
| 資産除去債務 | 629,910 | 704,619 |
| 契約負債 | 32,535 | 55,092 |
| その他 | 50,740 | 70,851 |
| 固定負債合計 | 4,735,515 | 4,529,254 |
| 負債合計 | 18,966,501 | 24,967,174 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,803,780 | 1,803,780 |
| 資本剰余金 | 1,909,872 | 1,909,872 |
| 利益剰余金 | 16,640,745 | 18,842,591 |
| 自己株式 | △80,494 | △80,494 |
| 株主資本合計 | 20,273,902 | 22,475,748 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,292 | 34,589 |
| 為替換算調整勘定 | 144,049 | 640,225 |
| その他の包括利益累計額合計 | 164,341 | 674,814 |
| 非支配株主持分 | 262,541 | 315,416 |
| 純資産合計 | 20,700,786 | 23,465,980 |
| 負債純資産合計 | 39,667,287 | 48,433,155 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日） |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 49,872,236 | 62,696,159 |
| 売上原価 | 36,604,362 | 46,408,887 |
| 売上総利益 | 13,267,873 | 16,287,272 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,613,721 | 12,576,877 |
| 営業利益 | 2,654,152 | 3,710,394 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 793 | 1,371 |
| 受取配当金 | 14,544 | 11,971 |
| 為替差益 | 22,972 | 39,361 |
| 受取手数料 | 4,414 | 4,814 |
| 受取保険金 | 759 | 2,095 |
| 受取補償金 | — | 540,806 |
| その他 | 12,781 | 23,104 |
| 営業外収益合計 | 56,265 | 623,526 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 37,402 | 43,877 |
| 開店前店舗賃料 | — | 300,489 |
| その他 | 10,311 | 10,791 |
| 営業外費用合計 | 47,714 | 355,158 |
| 経常利益 | 2,662,703 | 3,978,762 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 10,538 | 3,717 |
| 助成金収入 | 13,186 | 25,990 |
| 特別利益合計 | 23,725 | 29,708 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 133,977 | 10,552 |
| 賃貸借契約解約損 | — | 600 |
| 減損損失 | 235,540 | 53,861 |
| 臨時休業による損失 | 11,416 | 4,185 |
| 特別損失合計 | 380,934 | 69,199 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,305,495 | 3,939,270 |
| 法人税等 | 630,848 | 1,221,848 |
| 四半期純利益 | 1,674,646 | 2,717,422 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 15,608 | 22,539 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,659,038 | 2,694,882 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,674,646 | 2,717,422 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 619 | 14,297 |
| 為替換算調整勘定 | 73,257 | 496,175 |
| その他の包括利益合計 | 73,877 | 510,473 |
| 四半期包括利益 | 1,748,524 | 3,227,895 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,722,067 | 3,235,691 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 26,457 | △7,795 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定を、繰延税金資産の回収可能性の判断やのれんを含む固定資産の減損損失の判定に用いるなど、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した仮定から重要な変更はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

※臨時休業による損失

前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言の発出に伴う店舗の臨時休業等により発生した費用及び損失等を臨時休業による損失として特別損失に計上いたしました。その内容は、休業手当等にかかる人件費等であります。

当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、従業員に対し支給した休業補償手当等を、臨時休業による損失として特別損失に計上しております。